人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/
E-mail:gyoren@kagawa-gyoren.or.jp

香川漁連だより

JF香川漁連
高松市北浜町 8－25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699

県魚ハマチ指定10周年記念事業
「県魚フェア」を開催

本会と(社)香川県水産振興協会が主催、香川県かん水養殖漁業協同組合と香川県漁協女性部連合会が共催し、県産水産物のシンボルである「県魚」ハマチを消費者に再認識してもらい、さらに、漁協女性部の協力を得て地元水産物の広報活動を広く行い、地産地消活動をより一層推進する事を目的とした、「県魚フェア」を１１月５日（土）・６日（日）の２日間、ゆめタウン高松中央入口前駐車場特設会場において盛大に開催した。

５日（土）午前１０時からは、オープニングセレモニーが開催され、服部県漁連会長、嶋野県かん水組合長、岡田県女性連会長、真鍋県知事、松本県議会副議長、北山ゆめタウン高松支配人が出席した。主催者挨拶として服部会長が、「全ての関係者のおかげでこのような盛大なフェアが開催することができた」と感謝の意を述べると共に、「歴史ある香川県の基幹産業としてハマチ養殖を後世に残していきたい」と述べた。続いて、真鍋県知事、松本県議会副議長が来賓挨拶を行った。その後、テープカットを行い、先着３００名に香川県産「いりこ」を無償で配布し、買い物客らに県産水産物の購入を呼びかけた。

オープニングセレモニーでのテープカットの様子

盛大なオープニングセレモニーの後、買い物客らは県漁連販売事業部のハマチの即売、同加工事業部による煮干し等の販売、鴨庄・津田・庵治・高松市東部・四海漁協女性部の実演販売に足を止め、試食をしながら県産の水産物を買い求めていた。また、人数限定の水産振興協会による讃岐でんぶくめしの試食・販売、県かん水組合によるハマチしゃぶしゃぶ試食会が行われ、老若男女が舌鼓を打ち、県水産物の広報宣伝を広く行った。会場には、おさかなシャトルも展示され、恒例の「お魚ビンゴゲーム」が行われた。景品のハマチ贈呈式では、嶋野県かん水組合長が「ハマチを食べると頭が良くなるといわれております。香川県産ハマチを沢山食べて沢山勉強しましょう」と述べ、景品のハマチやふぐめしの素をプレゼントしフェアを大いに盛り上げた。

今回の「県魚フェア」は、展示、即売会、試食会、おさかなシャトルイベント全てが好評で、盛況の内に幕を閉じた。

平成１７年度水産物流通懇談会を東京と大阪で開催

「県産」ハマチを中心とした県産水産物の、より一層の販路拡大とブランド化を推進することを目的とした水産物流通懇談会を本会、香川県、(社)香川県水産振興協会、香川県かん水養殖漁業協同組合の共催により東京及び大阪で開催した。

１１月２日に京浜地域水産物流通懇談会を築地市場厚生会館で開催し、本県から出席した真鍋知事をはじめ服部漁連会長、嶋野かん水組合長等関係者１５名と、伊藤東京都水産物卸売業者協会会長をはじめ首都圏の卸売業者・量販店１０社・１２名により活発な意見交換が行われた。

本県側より香川県水産業の概要、県産水産物の生産状況等を説明し、特にハマチ・カンパチ等養殖魚の拡販を依頼した。卸売・量販店側からは水産物の流通と消費の動向について説明があり、養殖魚の拡販には最大限の努力はしているが、他魚種の動向もあり厳しいのが現状であるとの意見があった。

同日、千葉県鎌ヶ谷市のイオン鎌ヶ谷ショッピングセンターで「香川フェア」を開催し、県産ハマチや県産地魚の販売、ハマチしゃぶしゃぶ等の試食、庵治漁協女性部による天ぷらの実演販売、おさかなシャトルによるＰＲイベント等が盛況に行われた。フェアのなかで真鍋知事、服部会長他懇談会出席者

が同センターを訪れ、買い物客に県産水産物の購入を呼びかけ、香川県産「煮干」を配付した。

　また、１１月１５日に京阪神地域水産物流通懇談会を大阪市中央卸売市場管理棟で開催し、本県から大山県農政水産部長をはじめ服部会長等関係者１２名が出席し、勝屋大阪魚市場専務をはじめ京阪神地域の卸売り業者・量販店６社・１０名により水産物の流通・消費動向や本県産水産物の拡販等について意見交換が行われた。その後本県参加者により量販店であるライフ香里園店で本県産ハマチの販売状況を視察した。

　水産物流通懇談会では、本県側から本県産水産物の状況を伝え、卸売業者・量販店側からは流通・販売についての貴重な意見を聞くことができた。

　これらを踏まえて、今後の本県水産業の発展に活かしていくものである。

京浜地域水産物流通懇談会で真鍋知事の挨拶

JF全国漁業者代表者集会開催

　JF 全漁連は、１１月１９日東京虎ノ門パストラルにおいて「JF 全国漁業者代表者集会」を開催し、２００６年～２００８年度までの３年間の JF グループの事業・組織・経営改革に向けた新運動方針を採択したほか、燃油高騰対策に関する緊急決議及び、２つの特別決議を採択した。

　当日は、全国の漁協代表者約６５０名が参集、本県からも服部会長をはじめ１４名が出席した。なお、服部会長は JF 全漁連総合政策部会長として「JF 合併と事業改革の実現に向けた特別決議」を提案し満場一致で採択された。

☆採択された「２００６～０８　JF グループの事業・組織・経営改革に向けた新運動方針」

基本認識

　漁業・漁村を取り巻く厳しい環境を乗り越え、これら課題を克服出来る強い事業体への再構築へ向けて、組合員・役職員が一丸となって、事業・組織・経営改革を断行します。

　そのため、ＪＦグループ各段階において危機的状況におかれている現状をしっかり認識し、今後の展望を見据え、次代にしっかり受け渡し出来る事業・組織像を描くとともに、時間軸を明確にしながら、実効性を確保する仕組み・体制整備を進め、ＪＦグループの総意として取り組みます。

重点取り組み事項

　目指すべき目標、実践する主体・責任を明確化し、すべてのＪＦ等が取り組むべき事項を以下の通り「重点取組事項」として位置づけます。各県域においては、県域取組方針を策定した上で、ＪＦグループ各組織はそれぞれが責任を持って実態に応じた中期経営計画等の策定・実践に取り組み、実効性を確保していきます。

①　１９年度末の「漁協合併促進法」期限を踏まえた漁協合併構想の完遂

・１県１漁協等の実現で、事業・組織・経営の抜本的な見直し・改革への体制作りに取り組みます。

②　赤字の事業利益の“Ｖ字回復”に向けた取り組みによる健全経営の確保

・Ｖ字回復への「計画」策定と「部門別損益管理」の実践による赤字ＪＦ等（事業利益段階）の解消、組合員への経営情報開示、コンプライアンス態勢の強化に取り組みます。

③　組合員の漁業経営の安定に貢献するＪＦ事業改革の実践

・ＪＦごとの魚価アップ、コスト削減、利用率向上目標の達成に取り組みます。

④　漁業・漁村の活性化への貢献

・資源状況に見合った生産構造の早期構築、生産の中核となる効率的かつ安定的な漁業経営の育成・確保等の実践とこれを支援する新たな政策の実現に取り組みます。

政策要望

　ＪＦグループの事業・組織・経営改革に向けた運動方針を実現していくために、漁業・漁村の活性化に向けた政策要望として、**①資源利用の適正化に向けた構造改革への政策支援、②漁業経営の構造改革と新たな経営安定対策による競争力のある生産体制**

の構築への政策支援、③漁業経営安定対策への政策支援、④多面的機能の増進・漁村の活性化への政策支援、③産地側からの流通改革への政策支援、⑥ＪＦグループの組織・事業改革への政策支援、を国等へ強く要望します。

採択された緊急決議及び特別決議

［燃油高騰対策に関する緊急決議］

昨年来の燃油価格の異常な高騰は、無秩序な輸入水産物の氾濫による魚価の低迷で苦しむ漁業経営を直撃し、さらに危機的な状況に追い込んでいる。漁業者は省エネ、コスト削減に必至に取り組んでいるが、あまりにも急激な燃油価格の高騰は津波のごとく漁業経営を呑み込み、廃業も相次いでいる。国においては、この状況を緊急事態と受け止め、漁業経営を維持するための実効ある措置を緊急に打ち出さなければ、漁業のみならず漁村の崩壊をも引き起こすことは明らかである。ついては、わが国漁業・漁村の存続を図るため、下記事項の実現を政府・国会に強く求めるものである。

記

① 当面の経営維持を図るため、即効性のある特段の激変緩和措置を講じること。

② 省エネ、省コスト構造への転換支援措置を講じること。

［特別決議要旨］

1．ＪＦ合併と事業改革の実現に向けた特別決議

① 組合員の期待に応える「強いＪＦ」づくりへ、自らが決議した「合併計画」を促進法の期限までに実現する。

② 事業改革を通じ、組合員の所得向上に貢献するとともに、事業利益を『Ｖ字回復』させ、健全な漁協経営を実現する。

③ 国等は、漁協間の財務格差など合併実現の障害となっている問題の抜本解決と、事業改革を支援する施策を講じること。

2．ＪＦマリンバンクの健全性・信頼性確保に向けた特別決議

① 経営の自己責任原則のもと、ＪＦマリンバンク基本方針を遵守し、財務の健全化・収支改善・体制整備の徹底等により経営体質の一層の強化を図る。

② あんしん体制のもとＪＦマリンバンクの運営及び信用秩序維持を図りつつ、事業拡充に向けた取り組みの一層の強化を図る。

③ 国は、漁業金融円滑化のため保証・保険制度の充実・強化を図ること。

（全漁連情報より引用）

ＪＦ全漁連

漁協運動功労者表彰

木　村　　進

四海漁業協同組合代表理事組合長

全漁連は、１１月１８日(金)、平成１７年度(第２０回)漁協運動功労者表彰の式典と祝賀会を東京・虎ノ門パストラルで開催した。

この表彰は、漁協系統運動の推進・発展に功労のあった者に対し、全漁連が表彰しているもので、本年度は全国で３９名の受賞者があり、本県からは、木村進氏(四海漁業協同組合代表理事組合長)が受賞した。

木村組合長は、昭和２１年より漁業に従事して以来、現在に至る５９年の長きにわたり漁業一筋に従事している。

昭和４９年には四海漁業協同組合監事、昭和５１年に理事に就任し、昭和６３年にはその人格・見識及び指導力を認められ、組合長に就任した。

昭和５５年に四海漁協後継者協議会が結成され、組合長就任後は積極的な支援を続け、その育成に貢献した。

また、組合長の就任と当時期に香川県信用漁業協同組合連合会の理事に就任し、水産金融の円滑な運営に尽力するとともに組合員の漁業の近代化を促進し、漁業の振興及び漁業経営の安定に大きく貢献した。

第3回中讃秋のぴちぴち・とれたて市の開催

１１月１２日(土)、中讃２市２町の各漁協と行政でつくる中讃海域漁業・漁村活性化協議会（会長 小国 宏 多度津町長）は、宇多津町のうたづ臨海公園内で「中讃、秋のぴちぴち・とれたて市」を開催した。

このとれたて市は魚に親しんでもらい、消費拡大につなげようと昨年に続いて今回で３回目である。

また、宇多津町「秋の大収穫祭」と同時開催となり、会場は新鮮で格安の魚介類を求める家族連れら約３０，０００人が訪れ、宇多津、坂出市、与島、本島、白方、高見の６漁協より水揚げされたタコ、カレイ、イイダコ、ワタリガニ、殻つきカキなど新鮮な魚介類がずらりと並び、どれも市価の３～４割安

の販売とあって、オープンと同時に主婦らの行列ができ、タコめしやアナゴの天ぷらなどの加工品も人気を集めていた。

本会加工事業部からも煮干、ちりめんを出展していた。

このほか、子供を対象にした「アジのつかみどり大会」「おさかなシャトルイベント」など大いに盛り上がり、大盛況のうちに終了した。

地産地消を推進するために、来年度も開催される予定。

子供たちに大好評のアジのつかみどり大会

第25回全国豊かな海づくり大会神奈川大会開催

１１月２０日、神奈川県横浜市みなとみらいにおいて、天皇・皇后両陛下をお迎えし「光る海　未来を映す　大きな鏡」を大会テーマに第２５回全国豊かな海づくり大会が開催された。本県からは、服部会長ほか２５名が参加した。会場には、１９・２０日の２日間で予想を上回る１５万４８００人が来場し盛況であった。

式典は、パシフィコ横浜国立大ホールにて小野JF神奈川漁連会長の開会の言葉で開幕し、河野洋平大会会長（衆議院議長）、松沢神奈川県知事、中田横浜市長が挨拶、伊波横浜市議会議長の歓迎の言葉と続き、天皇陛下からおことばを賜った。表彰行事では、河野大会会長、中川農林水産大臣、小林水産庁長官、松沢神奈川県知事、中田横浜市長がそれぞれ部門代表者に表彰状を手渡した。

続いて、作文コンクールで最優秀賞を受賞した村田　依玖美さん（横浜市西柴小学校６年生）が「西柴アマモ隊の活動」を朗読・発表した。その後、漁業後継者を代表して蒲谷　泰延・直子夫妻（JF横浜市）や、日本海洋少年団らが「かながわ海づくりメッセージ」を発表した。

次に、大会決議採択に移り、植村大会推進委員会会長（JF全漁連会長）が大会決議を朗読し、満場の拍手をもって採択された。

放流行事は、両陛下から漁業後継者親子や海の環境改善に取り組む市民にアワビ、サザエ、アマモをお手渡しされ、マアナゴ、マコガレイ、マダイ、ホシガレイを海へと放流された。

来年は、１０月２９日佐賀県で開催される。

新人職員奮闘記

「東京支所販売課にて」

岡田　和隆

本年度より、東京支所販売課でお世話になっております岡田和隆です。以後、よろしくお願い致します。

香川県漁連に入会して半年が過ぎ、事務所での仕事・夜間の出荷作業など、戸惑うことだらけのこの生活にも慣れることが出来ました。

現在、野〆ブリ・カンパチの販売補佐と東北受注業務の仕事を与えられていますが、注文を聞いているだけで、営業と言えるような仕事をしているとは言えません。その上、ミスも多く、先輩方には迷惑をかけてばかりで、言われたことをこなすだけでも精一杯の毎日です。

夜の出荷作業でも、一連の作業の流れ・仕事内容は覚えてきたのですが、まだまだ足を引っ張る事の方が多いような気がします。

また、９月から関東の市場を回らせてもらったのですが、営業をやっていくためには電話でのやり取りだけでなく各市場の担当者と直接会って話をすることが大切なのだと感じました。この先、市場だけでなく、養殖産地にもぜひ足を運びたいと思っています。

早く一人前になり、営業の仕事をこなしていくためには、まだまだ知識・経験共に未熟ですが、先輩方から一つでも多くの仕事を任せてもらえるように、しっかり頑張っていきたいと思っています。皆様にはご迷惑をおかけすることが多々あるとは思いますが、ご指導の程よろしくお願い致します。

主な行事予定（12/1～1/4）

１２月　９日(金)	第１回のり入札
２２日(木)	理事会
２５日(日)	第２回のり入札
２８日(水)	仕事納め
１月　４日(水)	仕事始め